

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	のびっこらんど愛愛（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日	～	令和7年 1月 31日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日	～	令和7年 1月 31日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設は、バリアフリー化など配慮されています。 遊具が設置しており、特に体を動かすことが好きなお子さんにとっては、楽しく活動できる環境でいます。	お子さんが安心・安全に利用できるように、設備等の点検や活動の検討を意識して行っています。	職員間で、さらに遊びや活動内容の研究をし、活動の幅を広げ、バリエーションを増やす事で、お子さんたちが楽しく過ごしながら力を付けていけるようにします。
2	お子さんの発達状態に応じた個別、集団の活動を行っています。	個別支援では、運動や手指操作、発信や理解など、それぞれのお子さんの発達ニーズに沿って、無理なく力をつけていける活動を提供し、集団支援では、スタッフやグループのお友達と様々な活動を通して、自信をつけていく事やコミュニケーションの力を付けるられる活動を提供しています。	さらに、お子さんの要望を踏まえて活動を検討していきます。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援や、保護者との連携をより多く図れるといいです。	特に送迎サービスを利用しているお子さんの保護者さんについては、事業所に来る機会が殆どないため、話す機会が減ってしまっている状況です。	保育参観や面談など保護者さんが事業所に来て、お子さんの様子などを共有する機会を作ります。
2	送迎サービスは行っているが、要望どおりに対応することが難しい状況です。	今の体制では、送迎を増やすことは難しいです。 (車輛や人員など)	安心して利用できるように検討していきます。
3	外での活動が難しい状況です。	園庭がせまく、活動する事が難しいです。	近所の公園なども活用し、外で活動できるように検討していきます。